

平成25年度年間報告

平成26年5月

南越前町地域おこし協力隊

荒木 幸子

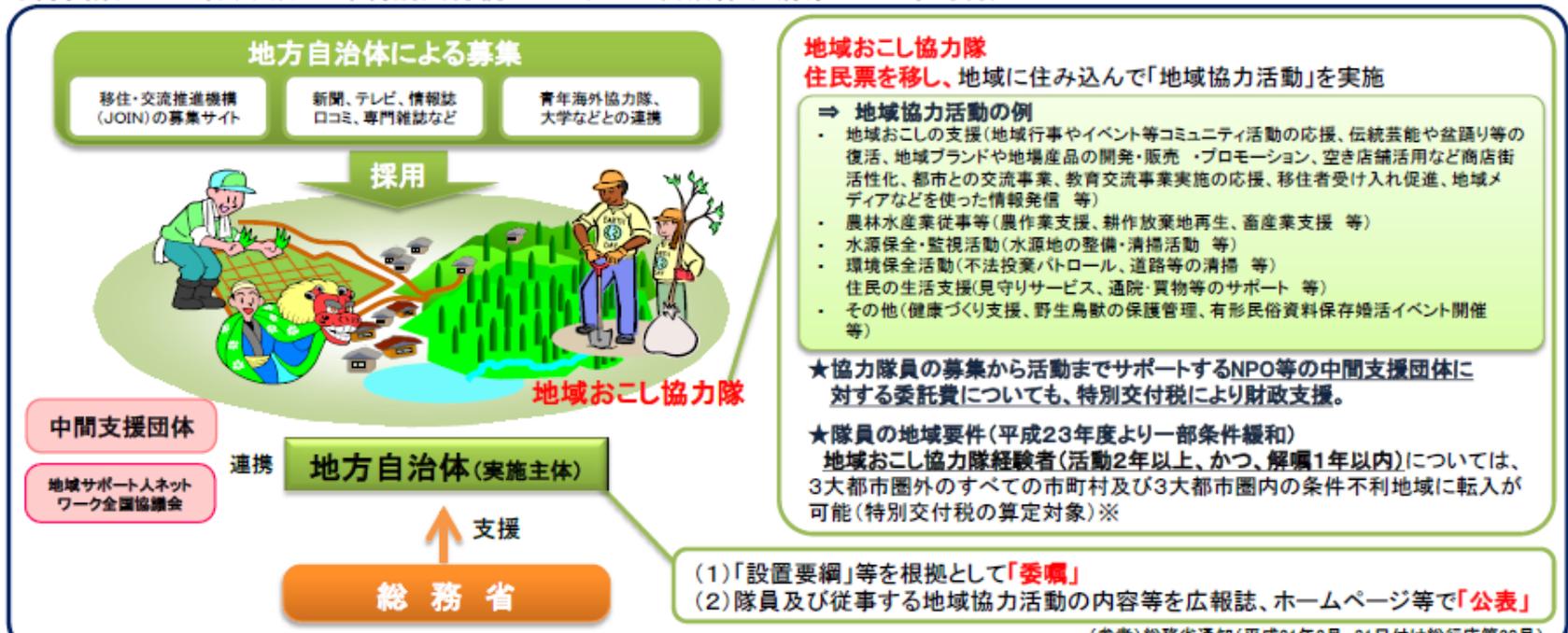
川村 博俊

地域おこし協力隊とは

- ◆ 地域おこし協力隊とは
(総務省「地域おこし協力隊の概要」より)

「地域おこし協力隊」について

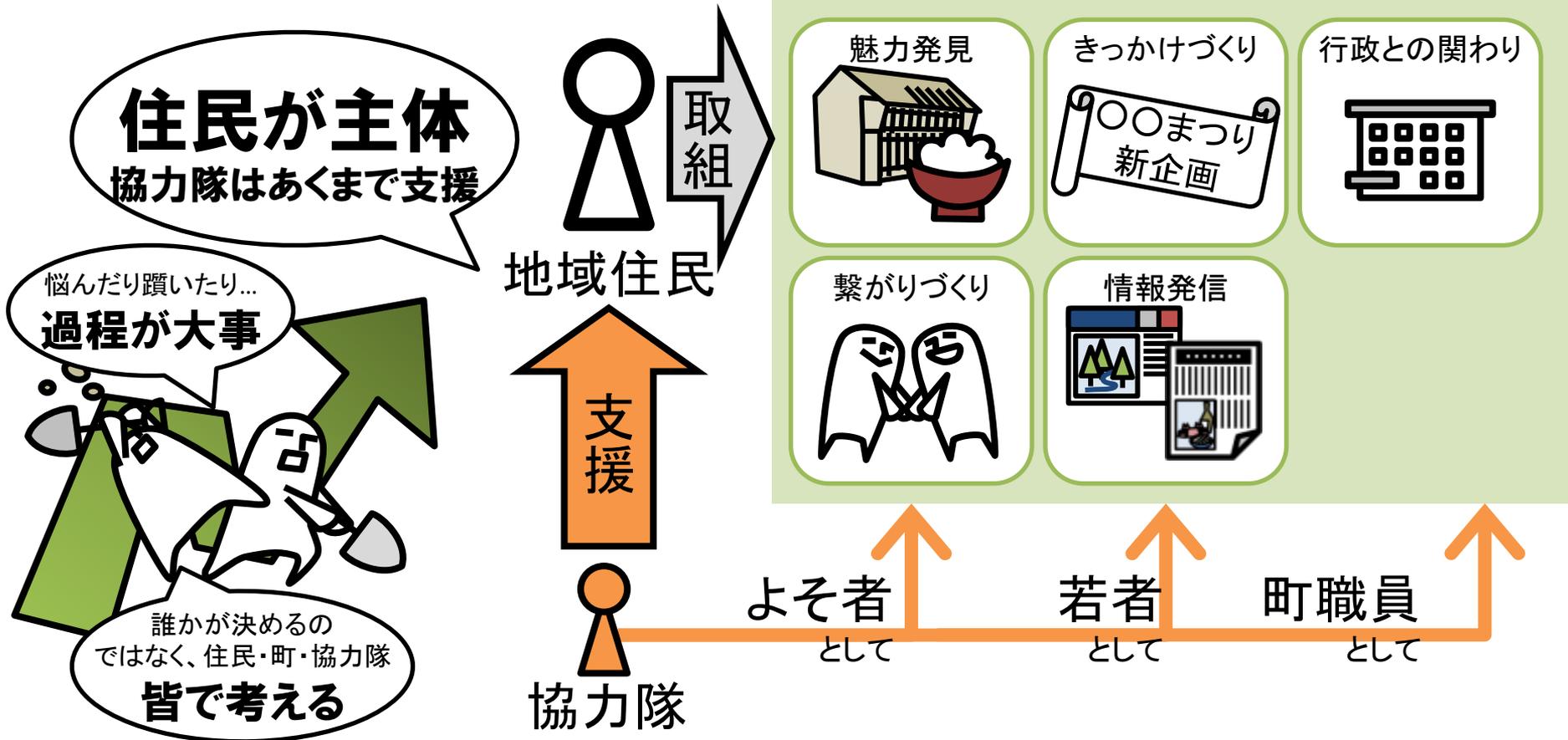
- 地方自治体が、都市住民を受け入れ委嘱。地域おこし活動の支援や農林漁業の応援、住民の生活支援など「地域協力活動」に従事してもらい、あわせてその定住・定着を図りながら、地域の活性化に貢献。
- 総務省による支援
 - ・ 財政支援(特別交付税) 隊員1人につき400万円上限(=報酬等(上限200万円)+活動費(上限200万円))、
: 対象経費=隊員の「活動」に要する経費、隊員の「定住」「起業」「就農」等の支援に要する経費
自治体1団体あたり200万円上限
: 募集に係る経費
 - ・ その他 隊員の募集や研修、マネジメント等の面で地方自治体をサポート
- 期間 概ね1年以上最長3年 * 3年を超える場合は特別交付税による支援は受けられないが活動継続は可能
- 隊員数 **617名**(平成24年特別交付税ベース) **207自治体**(3府県・204市町村)



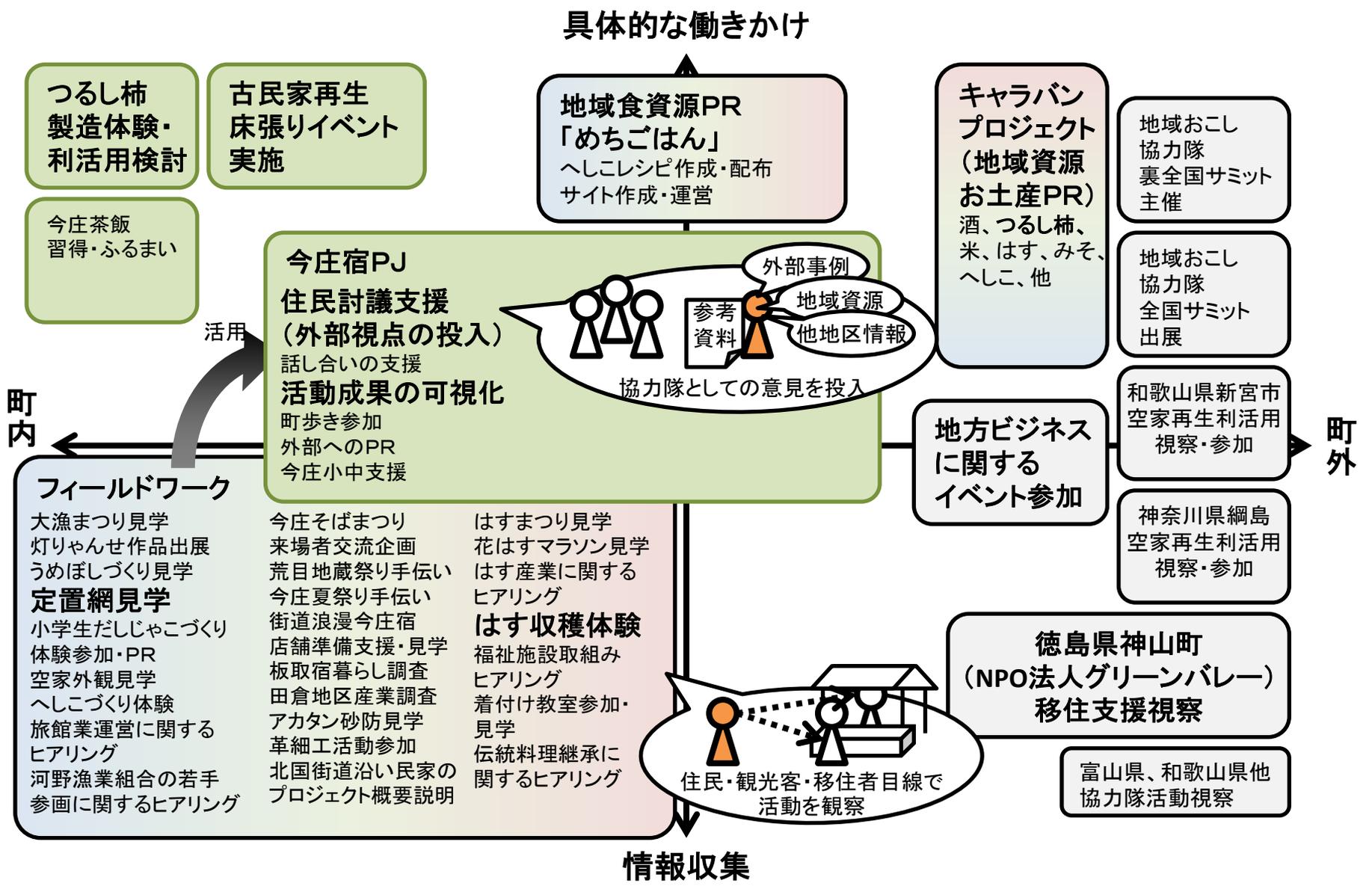
※ 特別交付税措置の対象として、原則として、転入地の地方自治体は、隊員がこれまで一定期間(2年以上)地域おこし協力隊として活動し、かつ、解嘱から1年以内であることを解嘱状等により確認できた場合に限るものとする

「地域おこし」と南越前町地域おこし協力隊の役割

◆ 地域おこしとは…



平成25年度活動実績(荒木)



平成25年度活動の様子(荒木)1/2

◆ 定置網見学

小学生の漁業体験に同行。



こどもたち大興奮
新鮮な体験が
産業の未来を支える



東京のどんな
料亭でも味わえない
本当の贅沢

◆ つるし柿

つるし柿振興会
吉田会長



つるし柿・林業・
農業・生態系...
全てが繋がって
地域が成り立っていた



面白い・美味しい・
ナリワイ化できる!

仲間を集める仕掛けをつくらねば...



平成25年度活動の様子(荒木)2/2

◆ キャラバンプロジェクト(地域資源お土産PR)



鎌
(はず刈り)



お味噌美味しい!
(お店でアレンジ)
使える!



干し柿は全国に
あるが燻した柿は
他にはない!
しぶい...!

町の皆さんの力を借りて...
南越前の本気
を東京へ

素材はまだまだあるはず...
(情報提供お願い致します)

一緒になって
額に汗するからこそ
生まれる絆

◆ 古民家再生床張りイベント

県内外(京都等)の方が
今庄の大工さんの丁寧な指導のもとで
初床張り



小学生も参戦
(将来有望)



◆ 外部視察・交流

CLASS ROOM

地元からローカルの魅力を発信する。
都会からローカルの豊かさを発見する。

◆ 今庄宿プロジェクト



徳島県神山町
NPO法人グリーンバレー
代表 大南信也さん



住民自身が
ゼロから考える、今庄の
あるべき姿

参考:今庄宿プロジェクト
活動成果の可視化



上ノ宮に戻った
久しぶりの賑わいに
昔を懐かしむ声も

ちおこ
CEIOCO

南越前町企画財政課 地域おこし協力隊 荒木幸子
E-mail : mechizen.kyoryokutai@gmail.com
URL : https://www.facebook.com/mechizen.kyoryokutai

成26. 5. 4sat 16:00~21:00

今庄まつり夜店復活



「昔は夜店の屋台がたくさん来ておまつり楽しかったなあ…」※ ⇒近隣イベントに
ないならつくればええんやで！今庄宿プロジェクト店舗部会・誘 露天商さんが
客部会がニギワイ復活のために立ち上がりました。 とられてるといふ(・ω・)

ラムネゆうんは
こう空けるんやで！
知らんてか!?



大人「とりあえずビール。」

ヤケド上等平成会
熱くなっております
ご注意ください

最高
の奉納
こどもたちの笑顔が

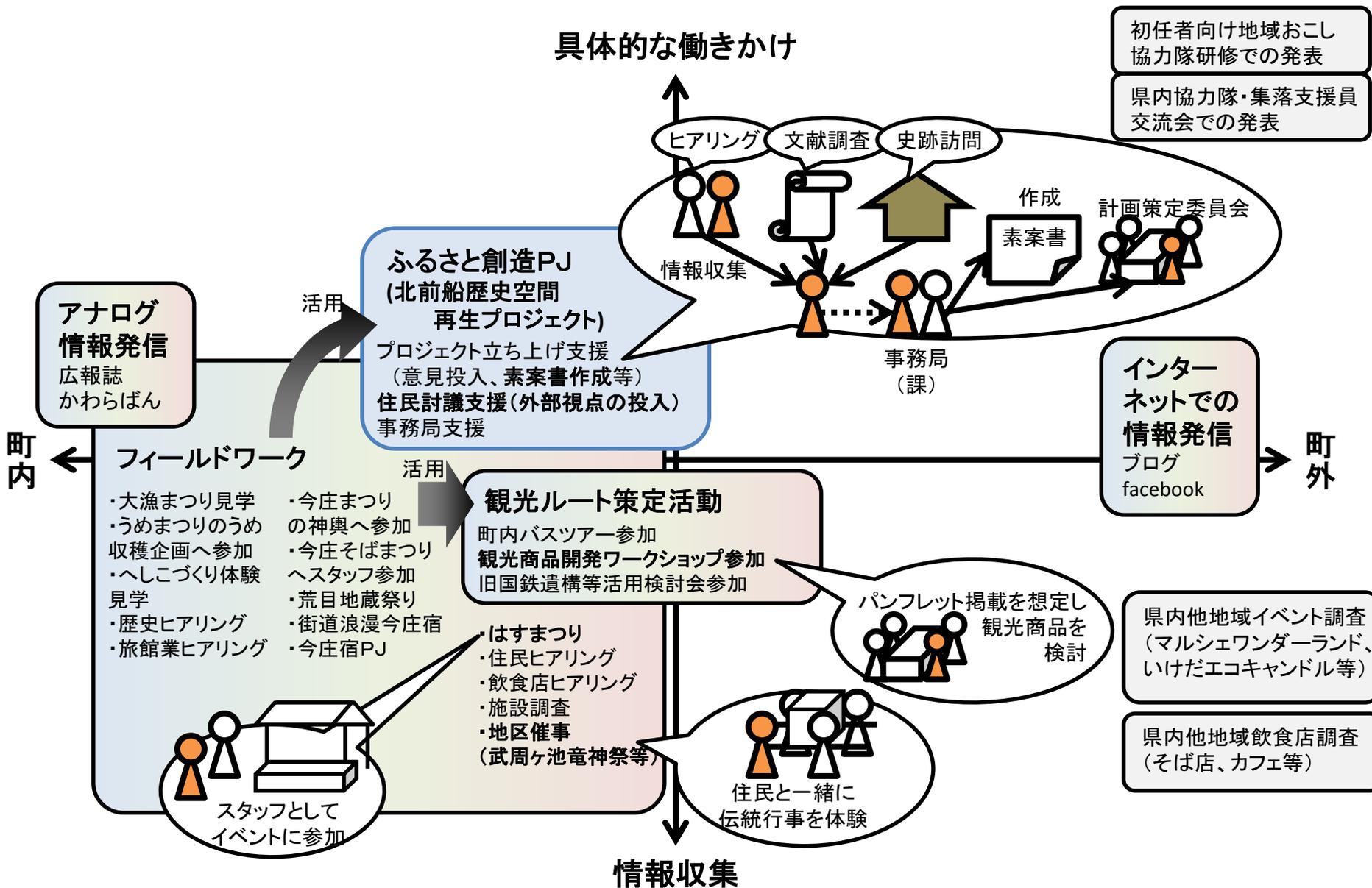


売切続出！おかげさまで大盛況
今年の今庄にご期待ください！

福井大学まつり学部
わたがし学科開講(!?)

ちおこ
Minami-Echizen town paper

平成25年度活動実績(川村)



平成25年度活動の様子(川村)



空き施設をどう
利活用するか...

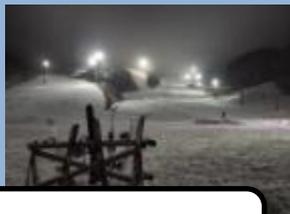
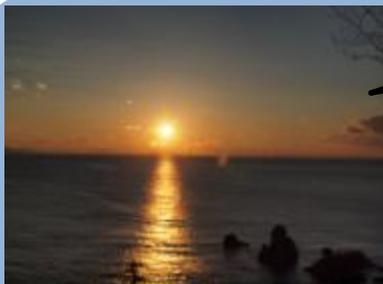


住民活動・普段の様子

祭り・イベントへの参加



この絶景をもっとアピー
ルしたい！



発掘作業がまだ途中...



この日のために、町外
の若者が帰ってくる！



県外から多くのお客さん
がいらっしゃる！

風景

①ガイドの様子



「このお寺は斬新な山門
や仁王像、多目的劇場
など特徴が多い！」

ガイドさんは基本的
にユニフォームと携
帯スピーカーを装備
している

▲天王寺駅近くの「一心寺」にて
月曜の午前中にも関わらず、多くの人で賑わっている

②まち歩きに使用されたマップ



地図は地元のデザイン
スキルを持つ学生が作
成

コースの企画は全てガイ
ドさんによるもの

▲この地図に描かれたコースに
沿って、約2時間程歩く

③「大阪あそ歩」のポイントとプロジェクトへの参考点について

(1)地元住民自身が「このまちは面白い！」ということ伝えて

「大阪あそ歩」では、基本的に地元在住の方がガイドを務めている。長年地元を見てきた方自身の語り口で、観光スポットでも何でもない場所の魅力を参加者へ伝えている。河野でも同じように、地元の昔話などを地元目線で伝えたほうが、遠方から来る人にとっては新鮮に映るのではないか。

(2)ガイド主体のコースづくり

「やりたい人にやらせよう」という自由な方針の下、ガイドするコースもガイドさんが自ら企画、作成しそのアピールまでしている。

(3)「プロ意識」を持ったガイドによる質の高いまち歩き

「大阪あそ歩」では参加者1人当たり1,500円の参加料を徴収している。茶谷代表によると、ガイドさんへ報酬を与えることによって、彼らにプロの自覚を持たせているという。



▲大阪あそ歩委員会
代表理事・茶谷幸治氏

任期3か年の取り組み(想定)

知る活動

動く活動

拡げる活動

25年度

地域の魅力を発見

課題1: 良いものはあるのに活かせていない

課題2: 良いものに住民自身が気づけない

地域の人と繋がる

課題3: 町内外で横の繋がりがあまりない

26年度

まずやってみる

- 各PJイベント等取組支援
- 住民地域活動支援

魅力を発信

- ケーブルテレビ発信
- 簡易ホームページ発信

人同士を繋げる

- 地区間連携の促進

2年目の活動のポイント

- 1年目に得た情報や課題を具体的な活動に落とし込み、実際に身体を動かす
- 活動の「可視化」を図る(目に見える成果に残す+知ってもらう)

27年度

みんなでやってみる

住民が魅力を発見発信

仲間を増やす

「拡げる」とは

協力隊 → 地域住民

今庄、南条、河野、町外協力者

巻き込み

平成26年度の取り組み(想定)

26
年度

動く
活動

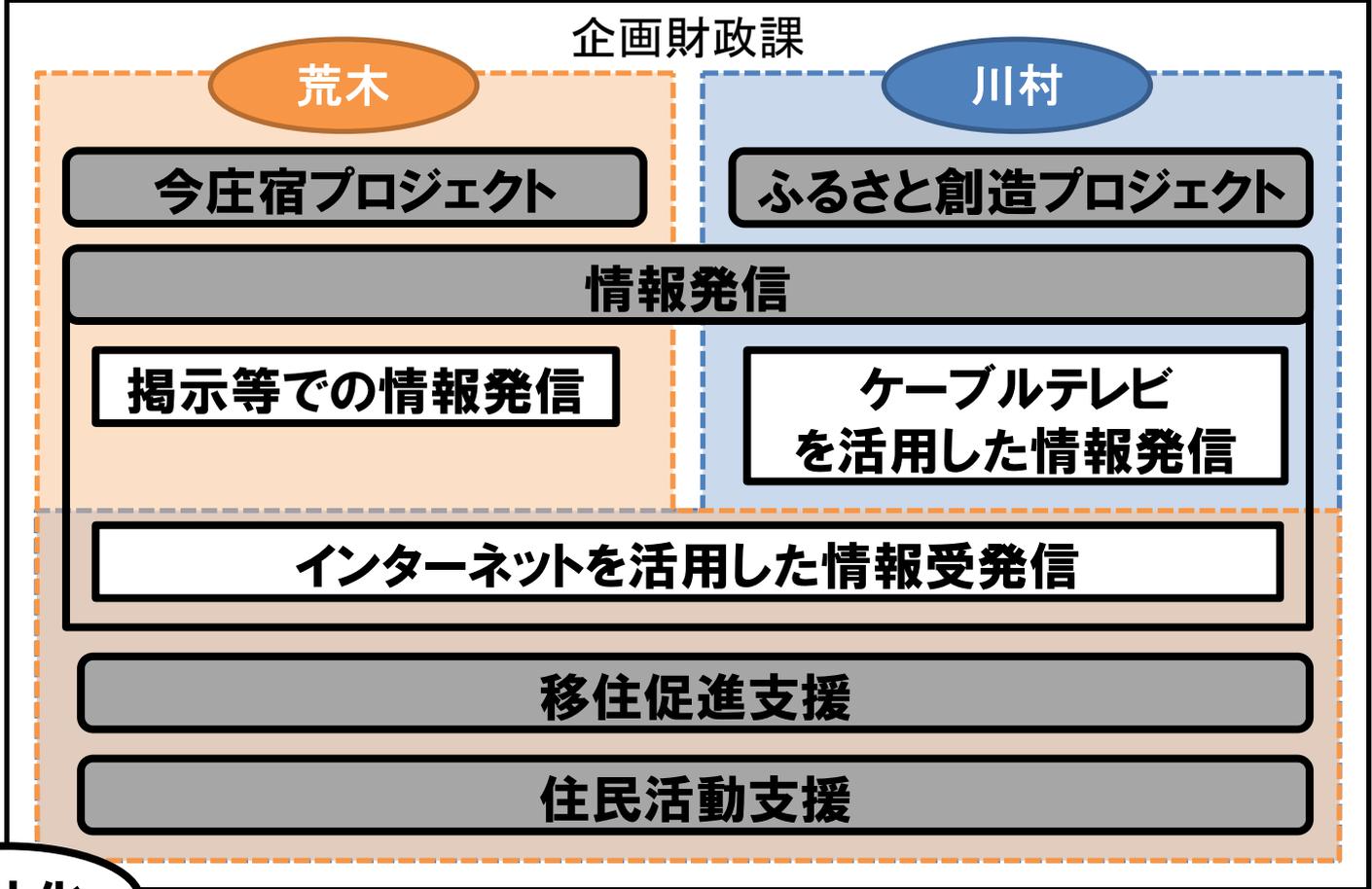
まずは
やってみる

魅力を発信

人同士を
繋げる

可視化

具体化



ご清聴

ありがとうございました！

